

## 令和3年度 年度はじめのご挨拶

4月1日に一宮商業高等学校から着任しました校長の小川芳範です。

生徒にとって、入りたい学校・入ってよかった学校。

保護者にとって、行かせたい学校・行かせてよかった学校。

地域の皆様にとって、応援したくなる学校・応援してよかった学校。

そうなるよう努めてまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。

さて、年度はじめのご挨拶につきましては、4月に実施しました入学式やPTA入会式でのお話を含めてご挨拶とさせていただきます。



中村高等学校は、昭和28年（1953）に開校し、今年創立69年目の年を迎える県内有数の名門校です。卒業生は2万6千人を超え、国内はもとより海外にまで広く羽ばたき活躍しています。

本校の伝統は校歌の歌詞に象徴されています。

一番に「英気の泉」、二番に「夢わくところ」、三番に「自主の庭」が本校の校風です。学習に、部活動に、学校行事に、「泉」のごとくあふれる「英気」で、湧きあがる「夢」の実現を目指して、「自主の庭」の言葉どおり、自主的、主体的に取り組む。一つの「夢」が実現することで、さらに「英気」があふれ、「夢」が湧きあがってくる。これが68年の歴史により培かわれた伝統です。

また本校は、愛知県教育委員会からスーパーイングリッシュハブスクールの指定を受け、英語教育の充実と国際理解教育を学校の特色として教育活動を推進しております。この実績を活かして、令和元年度に国際理解コースを設置し、今年で3年目となります。

生徒皆さんには、国際理解コースに限らず、国際感覚に溢れた豊かな人間性を育てたいと思います。国際交流の機会を通して異なる文化や価値観を理解し、その違いを前提としたグローバルな視野で物事をとらえ、考え、行動できる人に成長していただくことを願っています。

生徒の皆さんにとって高校生活で最も大切なものは、授業をはじめとする日々の学習です。普通科進学校である中村高校の生徒の生命線ともいえる学習に対して、本気で取り組んでください。漫然と学校に通うのではなく、目的意識をもって本気で本物の高校生活を過ごしましょう。

時はコロナ禍にあります。あらゆる場面においても、常に新型コロナウイルス感染症を意識した生活行動をお願いします。そして、新しい生活様式を確実に身に付けた「感染しない」「感染させない」健全な市民として、これからの時代をともに進んでいきましょう。